

演奏に
役立つ

One Point Lesson

TROMBONE

トロンボーン

山下浩生 やました・ひろお



- ◆出身 香川県立坂出高校、大阪教育大学・同専攻科
- ◆所属 宝塚歌劇オーケストラ、ジャパンプラスコレクション、アポロトロンボーンカルテット、大阪音楽大学、他
- ◆趣味 数独(ナンバープレース)、運転、種類
- ◆血液型 O型
- ◆星座 おひつじ座
- ◆読者にひとこと 自分の音と向き合う時間を持ちましょう。
- ◆手紙の送り先 hirooyama shitabj@me.com

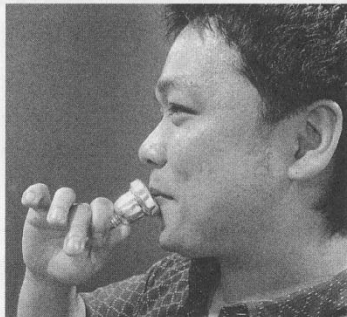
マウスピースの正しいあて方

先月に続き、マウスピースでの練習のお話です。先月の課題はこなせましたか？ マウスピースだけで何か吹けると楽しいですから、頑張ってください。練習は、楽しめる要素がないと長続きしません。ちょっとしたことでよいので、「楽しいなあ」と思えるものを見つけましょう。

ちなみに私の趣味は、「トロンボーン」とか、「練習」とか言ってもいいかも…と思うくらい楽器を吹くことが楽しいです。仕事では、実はそう楽しくないときもあるのですが、練習しているときはいつも楽しいと思います。以前、調子の悪い時期があったのですが、そのときは吹いていると楽器を投げ出したくなったりもしました。でも、練習を休んでいるとやっぱり吹きたくなるんです。向いていたと言うことでしょうか。「好きこそもの上手なれ」と言いますが、みなさんにも、楽器を好きになってほしいと思いますし、さらに大好きになってもらうためにも、今よりも思いどおりに楽器をコントロールできるようになっていただきたいと思います。

ところで、マウスピースを使わないで(唇だけで)「ピーッ」と音を出す練習をしたことはありますか？ 私はあまり得意ではありませんが、唇が硬いなあと感じたときに筋肉の緊張をほぐす目的で行なうことがあります。この練習に関しては「すべきでない(しても意味がない)」という人と、「必要だ」という人の2つの意見に分かれます。どちらの言うことも「なるほど」

【写真1】



と思うところはあるのですが、人の口、唇は十人十色で、きっとこの練習が得意にできる人と、そうでない人がいるのだと思います。これは私の意見ですが、最

低限の息を使ってマウスピースのリムに触れている唇を効率よく最適に振動させることが、ベストな音を出すための原理であることを考えれば、唇だけで音が出せる・出せないという違いが、唇のきれいな振動を得ることを左右するものではないと考えます。できない人は、気にする程のことではありませんし、できる人は、もちろん唇だけ振動させることをやめる必要はないと思います。

前置きが長くなりました。本題に入ります。今月は少し視点を変えて、正しいマウスピースのあて方を見つけ、その形で吹けるようにしましょう。練習のときに、上唇ばかり痛くなる人は(多くいると思います)、今月のレッスンをクリアできると、きっとそれを改善できると思います。

5月号をもう一度確認すると、前歯のかみ合わせを考慮せずに、楽器を正面に向けようとしてしまう(させてしまう)間違いがよくあるようです。「楽器をまっすぐ構えるように！」と先生から言われたので、自分に合わない角度で吹いている生徒さんが多くいます。歯並び(かみ合わせ)のことを無視してベルを真正面に向けてはいけません。ぜひ、顔は正面、楽器は少し下を向くフォームで演奏してみてください。

では、マウスピースを唇にあてる正しい向きを見つけましょう。

①マウスピースのリムの一番下を、下唇の

【写真2】



いつもそれが触れている場所にあてます【写真1】。

②そのまま演奏する口の形を作りながら徐々にマウスピースを上に向けていきます。このとき、下唇にかかる力がなくなるように注意しましょう【写真2】。

③その状態を保ったまま(少々違和感がある人もいると思いますが、すぐに慣れます)たっぷり息を吸って、音を出してみましょう。

④マウスピースのあたっている一番下を「支点」と意識して、そこにかかる力(マウスピースをプレスする力)が抜けないように注意しましょう。

⑤この状態で曲が吹けたら最高です。

そして、ピアノで【譜例1】の音を取り、ハミングしてみましょう。よい声でハミングするように心がけましょう。次に同じ音をマウスピースで出します。音が出にくいときは、ハミングをしながらマウスピースをあてていきます。マウスピースの中に向かって声を出している状態から、唇の振動に切り替えてみながら同じ音を取れるようにします。今日できなくても、明日か、来週か、来月にできるようになればよいよなっ…で感じて充分です。

【譜例2】も同様に行なってください。毎日のメニューに組み込み、根気よく続けることが大切です。

今月は以上です。いよいよコンクールが始まりますね。悔いの残らない演奏ができますように！

【譜例1】 ♩=72位

1 回目歌う、2 回目吹く 同様に
以下半音ずつ下がる所まで下へ。

【譜例2】 ♩=72

1 回目歌う、2 回目吹く 同様に
以下半音ずつ上れる所まで上へ。